



第43号

発行・編集：福祉のネットワーク永山

事務局：(社福) 多摩市社会福祉協議会

TEL：042-373-5616

令和3年12月

福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

暮らしの不安を軽減する「高齢者安心サポート事業(仮称)」

第4回 福祉のネットワーク永山定例会
「永山地域で住み続けるために
～終活を考える～」



第4回定例会では、多摩市社会福祉協議会・権利擁護センターの職員による「高齢者安心サポート事業(仮称)」について説明がありました。

多摩市では高齢化が進み、65才以上の単身世帯数は11,870世帯となっており、地域別では、永山は1,686世帯と全体の20%を超えています。親族からの支援が得られない単身高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせることができると日常生活から亡くなった後まで多角的に支援しようというものです。

「今の不安・将来の不安」を軽減するためには「いざという時に頼れるサービスが必要」と考えて事業化を検討しています。既存の制度などについても概要が説明されました。成年後見制度や福祉サービス利用支援事業、あんしん居住制度など、さまざまな制度がありますが、突然の体調不良時の対応や急な入院時の手続きなど、現在のサービスでは対応できないことも多いそうです。



郵便物、どうなっているかしら…。支払いをしないといけないものもそのままだし…。



近くに親しい人もいないし、何かあったときが心配…。

当日の意見交換でも助け合うコミュニティの事例が紹介されました。いざという時も家族への連絡を拒否されたり入院に際して留守宅の掃除や整理を頼まれたりといったケースです。これからますます単身の高齢者が増える傾向にありますが、既存の制度やコミュニティ活動だけで十分に対応できるのでしょうか。そういう問題意識から権利擁護センターでは「高齢者安心サポート事業(仮称)」を立ち上げようとしているわけです。それに先立ち住民の実情、ニーズを把握するアンケート調査を実施しています。



きりんの会は、2013年6月にアダプト団体登録し、永山南公園の樹林地（鉄塔付近）の樹木等の手入れを行い、楽しめる場づくりに取り組んでいます。毎月第2、第4（木）午前中に都合がつくメンバー5～6人が集まり様々な活動をしています。メンバーは永山在住の方や他の地域からの参加者もあると、きりんの会事務局担当の松原さんに伺いました。

活動内容は、樹木の手入れや落ち葉掃き、ゴミ拾いなど行い、樹木の良好な生育環境を確保するとともに、落ち葉や手入れで出た発生材を無駄にしない、ゴミにしないために、落ち葉の堆肥化、発生材の活用に取り組む一方で、エリアの楽しむ場、憩う場として魅力アップに取り組み、樹銘板や草花の名札設置、発生材でおもちゃ作りなどを行っています。松原さんより、この活動は、どなたでも、短時間でも参加可能なので地域の方に、ぜひ参加していただきたいとのことです。

福祉のネットワーク永山とは

☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを！

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体や住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしております！

▼定例会の様子

☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- 定例会：奇数月第3土曜日 10時～12時 諏訪地区市民ホール
- 瓜生小地区防災組織担当者連絡会：偶数月第2土曜日など
- 永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会：偶数月第3土曜日
- まち歩き：毎月第2・最終火曜日 10時永山南公園集合
（体調確認・マスク常時着用・三密回避にご協力ください）
年会費 500円（行事保険料等）行き先は事務局へお問合せください
- 見守りウォーキング：毎週月曜日 15時30分集合
瓜生地区：グルメシティ前（永山商店街内）
永山地区：グリナード永山2Fマクドナルド前
- 体操サロン：毎月第2水曜日 13時30分～15時30分
諏訪地区市民ホール



▲オンライン併用した定例会の様子

※新型コロナウイルス等の関係で、予定や場所などを変更する可能性があります。

<ま・ち・か・ど>

見返り橋の手前の空き地を花壇にしようと道路交通課のアダプト活動に「夢灯り実行委員会」として登録し、近所の有志で空き地の開墾から始めたのが4年前。今では花壇横の歩道を通る多くの方が季節毎の花を楽しんでいます。

総勢16名の登録メンバーが、毎月1回の活動日に全員揃うことはほとんど無く、各自が参加出来る時に参加する原則で各々のペースに合わせてゆったり楽しみながら続けています。

▼2017年12月：荒地を花壇に



▼2019年10月：秋の花満開



▼2021年11月：冬の花苗植えました

